



1.

語学教育が充実

英語はビジネス英語、化学英語など。現地の人とコミュニケーションをとるには必須と、第2外国語もスペイン語、ブラジル語、ポルトガル語、フランス語、中国語、韓国語、タイ語、インドネシア語など多岐にわたる。

2.

実習プログラムが豊富

南米やアフリカ、東南アジア、欧米など、世界各国の大学や農業の現場で学ぶことのできる短・長期のプログラムが豊富だ。国際農業者交流協会（JAEC）などに委託している実習プログラムも。

3.

青年海外協力隊に参加

大学院では在学中に青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティアに参加できる「長期履修制度」がある。学生を送り出す一方、JICA を通じてアフガニスタンやアフリカ諸国などから多くの留学生を受け入れている。

私が目指すSDGs

2 飢餓をゼロに

現地の未利用資源を有機質肥料とすることで、持続的な農作物の栽培と、農産物の安定供給を実現したいです。またビタミン、ミネラル源である野菜の普及で特に子どもや高齢者、妊婦の健康に貢献したいです。

学生さんに聞きました!

有機質肥料を研究 協力隊でザンビアへ

私は高校時代から途上国の農業について興味がありました。途上国では栄養不足の人々が多いことを知り、この人たちのために役立ちたいと思いました。そんなとき、途上国や熱帯地域に焦点を当てたこの学科を見つけ、ここで学ぼうと思いました。

学部時代で特に印象深かったことは、北海道や沖縄での農家と一緒に生活をしながら農作業の手伝いをするファームステイです。ファームステイを通して、農業の楽しさ、大変さを知り、また学ばせていただいたことは多く、今でもその知識が役立っています。

現在は大学院に在籍しながら青年海外協力隊に参加する長期履修制度を利用しています。大学院では現地で利用できる有機質肥料について研究し、協力隊ではザンビアに野菜隊員として派遣されます。学部時代や大学院で学んだことを活かし、ボランティアに励みたいです。

野本 泰洋さん
農学研究科
国際農業開発学専攻
修士課程1年



取得可能な学位：学士、修士、博士
定員：学部 150 名、修士 12 名、博士 2 名
学費：初年度の納付金（入学金や授業料、演習費など）
ホームページを参照
奨学金：あり
所在地：〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
TEL：03-3228-3167（入試について）
HP：https://www.nodai.ac.jp/

